

2025年5月吉日

お客様各位



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

営業本部

長期間ご使用の鉄鋼弁の取り扱いについて

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、標記の件につきまして、当社鉄鋼弁を長年にわたりご使用いただいておりますお客様におかれましてはご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当社鉄鋼弁は堅牢・長寿命ではございますが、長期間のご使用に対して製品の疲弊や劣化は避けられず、当社といたしましては20年での交換を推奨させていただいております。

長期間のご使用に伴い、気密性など保安に重大な影響を及ぼす点を以下にまとめさせていただきましたので、長期間ご使用のお客様におかれましては、鉄鋼弁の更新についてご検討をお願い申し上げます。

敬具

記

1. ボディ・ボンネット間等のガスケット当たり面の劣化による気密性能の低下により、整備を行う際に気密性確保のための作業工数の増大が考えられます。
尚、ガスケット当たり面の劣化要因として以下が考えられます。
①腐食によるミクロ的な荒れ
②整備時の清掃による平面度の低下
2. 押えナットネジ部の腐食等により、ネジかみ合い面の摩擦抵抗が増大することによる締め付けトルクの増大が考えられます。
締め付けトルクの増大により、ネジがスムーズに締め付けられず、気密確保に必要なガスケットへの締め付け力が不足し、気密性能が低下することが懸念されます。
また、気密確保に必要な締め付け力を確保するために、高い締め付けトルクが必要となり作業工数の増大に繋がります。
3. ボディ弁座面の経年腐食などにより弁座気密性能が低下し、弁座気密に必要なハンドル締め付けの操作力が大きくなり操作性が悪化するとともに、作業工数が増大します。

以上のことより、20年以上ご使用の製品に関しましては更新を推奨いたします。
上記内容にご配慮のうえ、ご検討をお願い申し上げます。

以上